

浮世絵技法の復元的研究のための 光計測・画像解析基盤技術の創出

南川丈夫^{1,2}, 永井大規³, 金子貴昭⁴,
谷口一徹⁵, 赤間亮⁶, 竹中健司³

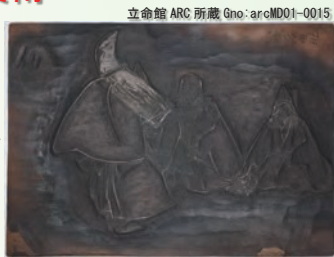
¹ 徳島大学 STS 研究部, ² 京都府立医科大学 医学研究科, ³ 有限会社竹筥堂
⁴ 立命館大学 衣笠総合研究機構, ⁵ 立命館大学 理工学部, ⁶ 立命館大学 文学部

浮世絵とその製作技法

浮世絵：日本の伝統美術



版下
(基本デザイン)



主版
(基本線の摺刷)



色版
(色の摺刷)



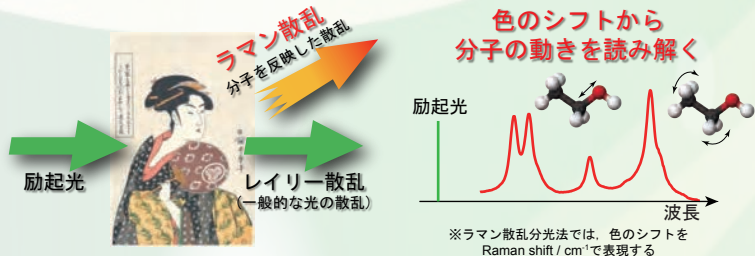
版画
(浮世絵の完成)

彫りの技術？ 摺りの技術？ ⇒ **不明な点が多い**

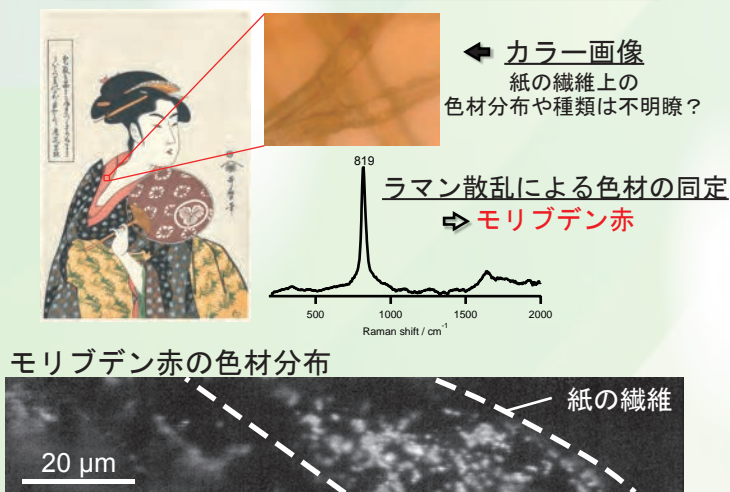
歴史的遺産であるため破壊的分析ができない → **非破壊的方法論を創出**

光で「分子」を分析する

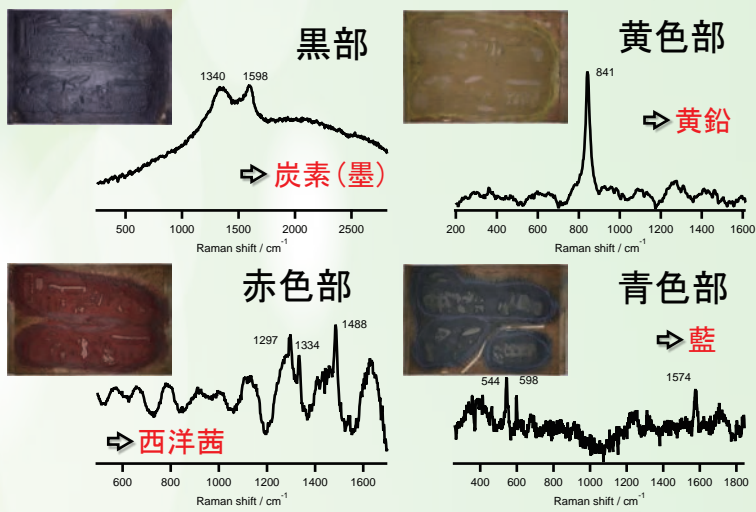
➤ ラマン散乱分光法 ~非破壊的な分子分析法~



➤ 色材のミクロな分布を明らかにする



➤ 80年前の版木から浮世絵を復元する ラマン散乱分光分析で当時使用された色材を明らかにする 祇園会ねりもの



まとめ

ラマン分光法を用いた分子分析法 ➡ 色材の種類・分布を非破壊的に分析
色材から近世の浮世絵技法を現代に甦らせる